

# 田勢康弘 講演会

「安倍政権展望」そして「島倉千代子という人生」



安倍政権になり日本はどう変わったのか、いったいどこへ向かうのか。

そして、「島倉千代子という人生」の著者でもある田勢康弘氏が語る真の島倉千代子像と、彼女が生きた時代とは。

今回も盛りだくさんの内容でお届けします。

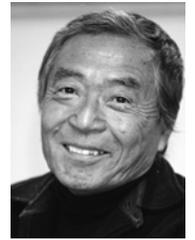
- ▼いつ 6月24日(火)  
午後7時開演(午後6時30分開場)
- ▼どこで 白鷹町産業センター(パワーセンター)
- ▼定員 200人(入場無料・要整理券)

### 入場整理券取扱い

教育委員会・中央公民館・各地区公民館・パワーセンター・あゆむ

# 写真家 浅井慎平 講演会

一空の青、大地の緑、紅の赤、そして白い山  
ふるさとの色と心



- ▼いつ 7月9日(水)  
午後7時開演  
(午後6時30分開場)
- ▼どこで 白鷹町文化交流センターあゆむ
- ▼定員 200人  
(入場無料・要整理券)

### 【浅井慎平】

愛知県瀬戸市生まれ。「ストリート・フォトグラフ」「ビートルズ・東京」の写真集で独自の視点が注目されデビュー。その後、チャック・ペリーの撮影で東京アートディレクターズクラブ最高賞などを受賞。写真表現のほか、文芸、音楽、映画、工芸などさまざまな分野で活躍。

1991年、千葉県南房総市千倉町に「海岸美術館」を設立。地球環境問題に強い関心を持ち、主として水辺や歴史的視野からの風景などを撮影し、シンポジウムやテレビ番組にも積極的に参加。時代に新しい風を送っている。

## 「白鷹学講座」企画委員を募集します

町民皆さんの生涯各期にわたる学習機会づくりを目指す「白鷹学講座」。町民有志で構成する「企画委員会」でテーマを発見し、講座の企画から開催・運営を行っています。勉強してみたいテーマがある方、まちづくりに興味がある方、白鷹学講座企画委員に参画してみませんか!!

■白鷹学講座に関する問い合わせ 教育委員会生涯学習・文化振興係 ☎85-6146

## 町報川柳 「歩」

春の陽に歩みかるやか通学路  
水ぬるむ川面に春の遊歩道  
なつかしき友と歩いた朝日登山  
頑固爺一歩もひかぬ尺貫法  
万歩計桜ウオーキング小春日和  
あと一歩譲ると温い風が吹く  
散歩道日本のたんぽぽ遠慮がち  
あと一歩あれば人生勝ち将棋  
歩のようにと金となつて逸材に  
病み上がり歩いてみるかがんばって  
親心立てば歩めとせかせてる  
年寄りの散歩が目立つ春の朝  
爺と孫雪かき二歩と道がつく  
孫の手に引かれて歩む老夫婦  
将棋の歩地味な動きで王たおす  
いつからか夫より三歩前にいる  
朝散歩これが私の健康法  
入社して歩んで早い三十年  
悩むより千里の道程一歩から  
将棋の道も歩がなければ勝てないか  
歩いて歩も歩さきれない夢の中  
みどり燦々奏でる朝の散歩道  
一歩ごと老いの坂道どっこいしよ  
ツアー旅歩み速くて景色観ず  
我が孫の這えば歩めに教えられ  
年寄りの歩巾に合わす孫二人  
将棋の歩には歩なりの道がある  
願ひ込め歩くりハビリ老いた母  
歩道橋廻り道でも渡りませう  
たまに來る曾孫の進歩に追いつけぬ  
頼りない歩みが頼り八十路行く  
朝夕に二人散歩で至福の歩  
支えられ支えつつ歩く夫婦道

長井市 安部ありな  
高岡 安部健一  
武蔵野 池田武子  
山口 石川與次衛門  
荒砥甲 五十公野かをる  
大瀬 五十公野春己  
世田谷 糸マサ  
鮎貝 植木英夫  
浅立 梅津美千子  
滝野 海老名さち  
世田谷 遠藤八重  
横須賀 大滝健次郎  
菖蒲 奥山節子  
高玉 片山時美  
菖蒲 小関弘  
畔藤 佐藤孝子  
畔藤 菅原敦子  
笹和田 鈴木トミ  
荒砥甲 鈴木美貴子  
十王 平恒人  
高玉 高橋朝子  
荒砥乙 高橋白兔  
荒砥乙 土谷灯一  
笹和田 土屋敏子  
笹和田 土屋敏子  
荒砥乙 保科平敏  
十王 松田久一  
箕和田 迎田留蔵  
ふじみ野 村上桂造  
十王 守谷三郎  
荒砥甲 横山陽子  
鮎貝 横山直太  
山口 渡部喜美子

次回「音」六月二十五日まで。「汗」七月二十五日まで。  
白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場総務課企画室情報係 宛